	⑽　その他の電気部品	①　ヒューズ、サーマルリレー、ブレーカー等の定格を調べる。	①　ヒューズ、サーマルリレー、ブレーカー等の定格が当該機械の構造及び性能に照らし、適正であること。
		②　摩耗、損傷、汚れその他の外見上の異常の有無を調べる。	②　摩耗、損傷、汚れその他の外見上の異常がないこと。
14　ダイクッション及びその付属機器	⑴　ボルト及びナット	スパナ等により、各部のボルト及びナットの緩みを調べる。	適正に締め付けられていること。
	⑵　ダイクッション並びにその付属機器及び配管	機能及び作動状態を調べる。	機能及び作動状態が適正であること。

別表第２　液圧プレス

検査対象の構造及び装置		検　査　方　法	判　定　基　準
1　機械本体	⑴　外見	①　本体各部について亀裂、損傷その他の外見上の異常の有無を調べる。	①　亀裂、損傷その他の外見上の異常がないこと。
		②　スパナ等により、本体各部（基礎、本体下部のピット及びクラウン上部を含む。）のボルト及びナットの締付け状態を調べる。	②　適正に締め付けられていること。
	⑵　潤滑系統	給油の状態を調べる。	潤滑系統の機能が正常で、かつ、確実に給油されていること。
2　ラム及びその関連装置	⑴　ラム及びシリンダー	①　ラム及びシリンダーの外見上の異常の有無を調べる。	①　油漏れ等の原因となる外見上の異常がないこと。
		②　スパナ等により、パッキンの締付け状態を調べる。	②　適正に締め付けられていること。
	⑵　ラム取付け部	①　スパナ等により、ラム取付けボルトの締付け状態を調べる。	①　適正に締め付けられていること。
		②　ラム取付け板の損傷及び変形の有無を調べる。	②　損傷及び変形がないこと。
	⑶　スライド	しゅう動面、金型取付け部等の摩耗、亀裂、損傷その他の外見上の異常の有無及び作動状態を調べる。	摩耗、亀裂、損傷その他の外見上の異常がなく、かつ、スライドが円滑に作動すること。
	⑷　位置検出装置及び取付け部	①　破損、変形、緩みその他の異常の有無を調べる。	①　破損、変形、緩みその他の異常がないこと。
		②　作動状態を調べる。	②　作動状態が適正であること。
	⑸　安全ブロック若しくはスライドを固定する装置又は安全プラグ若しくはキーロック	①　破損、変形、チェーンの損傷その他の外見上の異常の有無及び取付けボルトの緩みを調べる。	①　破損、変形、チェーンの損傷その他の外見上の異常及び取付けボルトの緩みがないこと。
		②　スライドを固定する装置の機能を調べる。	②　当該機械の構造及び性能に照らし、スライドが適正かつ確実に固定されること。
		③　インターロック機構の異常の有無を調べる。	③　確実にインターロック機構が作動すること。
3　油圧系統	⑴　油圧ポンプ	①　油圧ポンプを運転し、異音、異常振動、異常発熱及び軸振れの有無を調べる。	①　異音、異常振動、異常発熱及び軸振れがないこと。
		②　電動機と油圧ポンプとの軸継手を回転方向に動かし、結合キーのがたの有無を調べる。	②　がたがないこと。
	⑵　油圧配管	油漏れの有無を調べる。	油漏れがないこと。
	⑶　圧力調整弁及び圧力計	調整弁を操作し、圧力計により、圧力の変化を調べる。	圧力の変化が正常であり、かつ、圧力を０にしたとき圧力計が０を表示すること。
	⑷　電磁弁及び主操作弁	①　機械を運転し、作動状態を調べる。	①　作動状態が適正であること。
		②　①の検査の結果、異常があるときは、必要に応じて、加圧ラムを操作する主操作弁を分解し、ばね及びばね受け座の損傷及びへたりの有無を調べる。	②　損傷及びへたりがないこと。